



塗装面へのホルムアルデヒド吸着コート剤

品名 **FXN-111-S6-8**

製品説明

- 用途 : 化学吸着液剤（主にホルムアルデヒドを吸着）
- 目的 : 水性塗料の塗装面へのオーバーコート剤
- 効果 : 室内ホルムアルデヒド濃度を75%除去（天井面積の80%に塗工）
詳しくは低減効果予測グラフを参照（JIS A 1905-1/ISO 16000-23に基づく）
- 塗工量 : 50~70g/m²を目安
- 使用方法 : スプレー・ローラー・刷毛で施工
- 保管方法 : 冷暗所で保管
- 注意点 : 成分中の微粒子が沈殿しますので良く攪拌してご使用ください。
: 撥水性のある水性塗料では当剤をはじき塗れない場合があります。
その容易な場合には速やかに濡れ付近でお拭き取り下さい。
: 液温が上昇する事でガスが発生し容器が膨張した場合はキャップをゆるめ
ガスを抜いてください
: 塗工後、温・湿度条件によって異なりますが乾燥に24時間以上お取りください。
: pHが低い場合金属部分には塗らないでください。
付着した場合は速やかに濡れ布巾でお拭き取りください。

技術説明

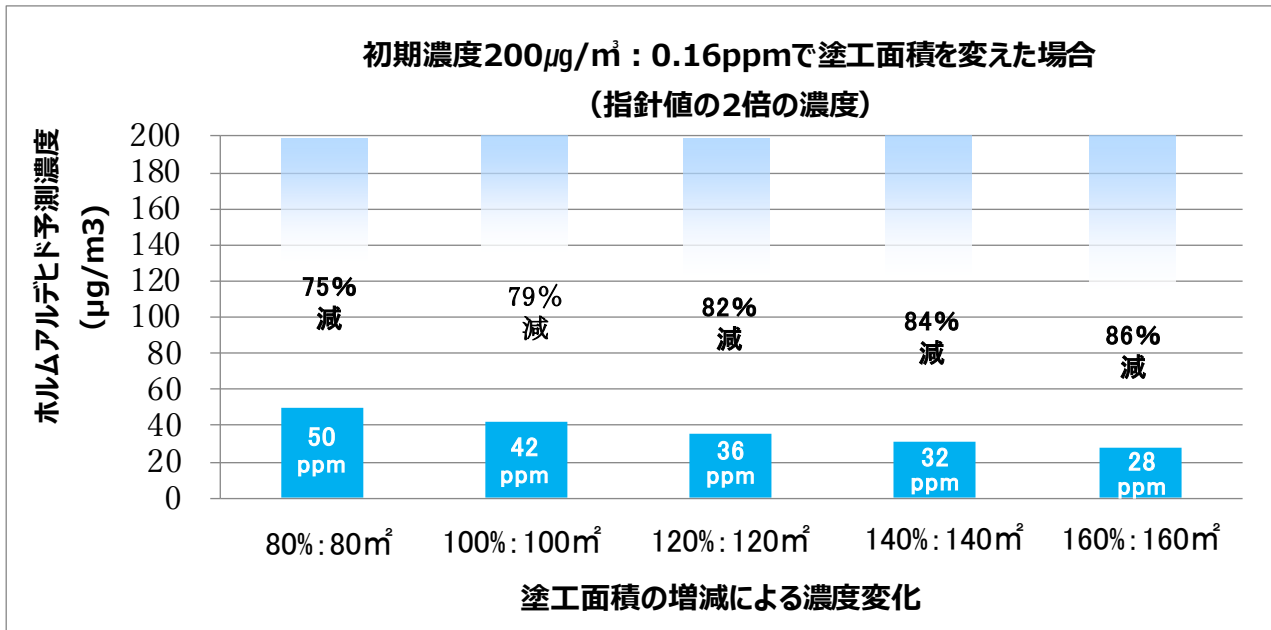
- 形状 : 液体（微粒子成分が沈殿します）
- 色 : 攪拌後：乳白色
- 主成分 : アミノ化合物・精製水・他
- 不揮発分 : 約50%
- pH : <2.0~3.2
- 粘度 : 1.5~5.0mPa・sec
- 溶解性 : 水に溶解

FXN-111-S6-8

[水性塗料塗工面への塗工]

室内ホルムアルデヒド濃度の低減効果予測グラフ (JIS A 1905-1 / ISO 16000-23)

換気回数	0.2回/1h	空間構成			室内容積	250 m ³
	(隙間換気として設定)	(縦 10×横 10×高 2.5) m			天井面積	100 m ²
塗工箇所	天井面積 100 m ² へ [S6-8] 塗工後の室内ホルムアルデヒド濃度の低減効果予測					
【天井・壁】	* 天井に設置された照明・換気器具等の面積を差引いた場合および天井の他の壁に塗工した場合の効果予測					
面積	面積比率	80%	100%	120%	140%	160%
	面積	80 m ²	100 m ²	120 m ²	140 m ²	160 m ²



FXN-111-S6-8 の天井等に対する塗装の目的と試験内容

ビニルクロスを採用せず塗料塗装の内装が多い国々があります。

また、機械換気装置を設置していない場合が大変多い状況です。

ホルムアルデヒド低減効果予測グラフは、機械換気によらず自然に換気される（隙間換気）換気回数を 0.2 回/時間とし、またホルムアルデヒド室内濃度が国内指針値の 2 倍を前提とし、JIS A 1905-1 / ISO 16000-23 による試験結果から得た指数から分析したものです。

この技術データは弊社ラボにおける信頼できる実験によるものですが、絶対的なものとは言えません。
従って御試用に際しては、御社の使用目的、条件に適合するか否かを事前に充分にご検討ください。

グラフトン株式会社

〒156-0097 東京都世田谷区用賀 4-11-14-3F TEL03-6413-4766 FAX:03-6413-473